

# ルーヴェン大学病院導入事例

ルーヴェン大学病院 (UZ ルーヴェン) は、VASCO の DIGIPASS 300 を使用して患者の個人情報を守り保護

先進的な医療技術、高品質の画期的な新薬、そしてケアと信頼が、ルーヴェン大学病院のミッションです。ベッド数 1,927 台、職員数 7,300 人以上の UZ ルーヴェンは、ベネルクス最大規模の有名なヘルスケアセンターです。

UZ ルーヴェンは、ICT の分野でもリーダー的存在です。病院の常勤医以外の医師も、患者側の同意があれば、インターネットを介して患者の UZ ルーヴェンのファイルを開覧することができます。UZ ルーヴェンが実施した専門的な研究を、医師が地元での診察にオンラインで活用することができるほか、職員が自宅から UZ ルーヴェンのネットワークにアクセスすることもできます。

このようなアプリケーションを正常に機能させるには、十分に高度なセキュリティが不可欠です。アプリケーションへのアクセスを使用する必要がある人物だけに限定するために、ルーヴェン大学病院は VASCO の DIGIPASS 300 の使用を決めました。



ルーヴェン大学病院 重要情報 (2002年)	
ベッド数	1 927
診察件数/年	546 420
入院者数/年	62 598
入院日数/年	85 940
職員数	7 390

## アプリケーション

UZ ルーヴェンは、増え続けるアプリケーションに対して VASCO の DIGIPASS 300 を使用しています。

LISA (Leuvense Internet Samenwerking Artsen、ルーヴェンをベースとする一般開業医のインターネット提携協定)

このアプリケーションを利用すると、症例を参照したい医療従事者 (一般開業医、専門家、他のヘルスケアプロバイダ) が、病院のスタッフが利用する患者ファイルにアクセスすることができます。これらの外部の医療従事者は、「インフォームドコンセント同意書」の署名により患者が許可した場合に限り、患者のファイルへのアクセスが認められます。UZ ルーヴェンに患者の照会を行った医師が全員 LISA のメンバーであることを示す文書が、すべての患者に対して提示されます。診察を受ける患者の 99% 以上が同意しています。外部のヘルスケアプロバイダと UZ ルーヴェンとの間のやり取りは、VASCO の DIGIPASS 300 によって保護されます。現在、200 人ほどの医師が UZ ルーヴェンに患者の照会を行い、DIGIPASS を使用して LISA プロジェクトに参加しています。LISA を介し、23,000 以上の患者ファイルにアクセスすることができます。



UZ ルーヴェンのネットワークにアクセスできる人を許可されている人に限定するというのをどのように保証するか。

## FLEMISH HOSPITAL NETWORK KULEUVEN

Flemish Hospital Network KULeuven の各病院で使用するアプリケーションでは、症例を照会する医師からの認証要求が増加しています。今後は、1 つの DIGIPASS だけで、複数のアプリケーションへアクセスできるようになります。

## PETNET

UZ ルーヴェンでは、核医学の分野で非常に特徴的で優れた研究が行われています。地方にいる専門家も、PETNET を介することで自分の職場からこの研究結果を要請し、参照することができます。DIGIPASS 300 が強力な認証を実現します。

## リモートアクセス

何百人もの UZ ルーヴェンの職員は、DIGIPASS 300 を使用することで、どこからでも安全に病院のネットワークにアクセスすることができます。そのため、スタッフは緊急事態にも常に対応することができます。



UZ ルーヴェンの教授、Bart Van den Bosch 博士は次のように語っています。「VASCO を使用することで、インターネットを安全なチャンネルとして利用できるようになりました。」

## 技術面

UZ ルーヴェンのスタッフや地方の一般開業医は、必ずしもコンピュータの専門家ではありません。それが、UZ ルーヴェンの Information Systems サービスが、システムの使いやすさに重点を置いた理由です。そして使いやすいシステムの開発に成功しました。LISA プログラムはブラウザに統合されているため、ユーザがプログラムをわざわざダウンロードする必要がありません。VASCO の DIGIPASS を選択した決め手は、セキュリティと、ソフトウェアの使いやすさでした。

UZ ルーヴェンの Information Systems サービスでは、独自のセキュリティインフラが構築されており、承認を保証するために VASCO の DIGIPASS 300 および DIGIPASS Libraries が利用されています。システムには、Java アプレットで実装された SecureShell ソリューションも使用されています。

## 背景情報

1999 年に病院が、外部の第三者がすべての医療ファイルにインターネットを介してアクセスできるようにすると決めたと際、UZ ルーヴェンの ICT マネージャーは、2 つの大きな問題に直面していました。1 つは、オープンシステムであるインターネットの

安全性をいかに確保するかという問題であり、2つ目が、UZ ルーヴェンのネットワークにアクセスできる人を許可されている人に限定するということとをどのように保証するかという問題です。答えは簡単でした。セキュアな暗号化通信と強力な認証を組み合わせればよかったです。UZ ルーヴェンが選んだ認証製品が VASCO の DIGIPASS 300 でした。UZ ルーヴェンが DIGIPASS 300 の使用を開始したのは、1999 年末のことです。

UZ ルーヴェンの教授、Bart Van den Bosch 博士は次のように述べています。「DIGIPASS 製品ファミリーには定評のある信頼性がありましたので、我々は VASCO を選択しました。DIGIPASS 300 の使いやすさ、堅牢性、および価格 / 品質のバランスが重要な条件でした。VASCO を使用することで、インターネットを安全なチャンネルとして利用することができるようになりました。これで、サービスの品質、つまり我々の優れたヘルスケアの恩恵を受ける患者様、医療従事者およびスタッフにサービスを提供することができます」

#### 強力な認証とは

強力な二要素認証

- 知っていること (DIGIPASS に入力する暗証番号)
- 持っているもの (DIGIPASS)

DIGIPASS がワンタイムパスワードを生成

- 36 秒ごとに更新
- ハッキングは、実質的に不可能



DIGIPASS 300

## VASCOについて

VASCOは強力な認証や電子署名のソリューションおよびサービスのナンバーワンサプライヤです。VASCOは、1,200以上の国際金融機関をはじめ、世界110カ国以上の8,000を越す企業や組織で利用されている、インターネット上の安全を守る、世界のリーディングソフトウェアカンパニーです。VASCOのソリューションは、金融、エンタープライズセキュリティ、電子商取引、電子政府で活用されています。

お問い合わせ先